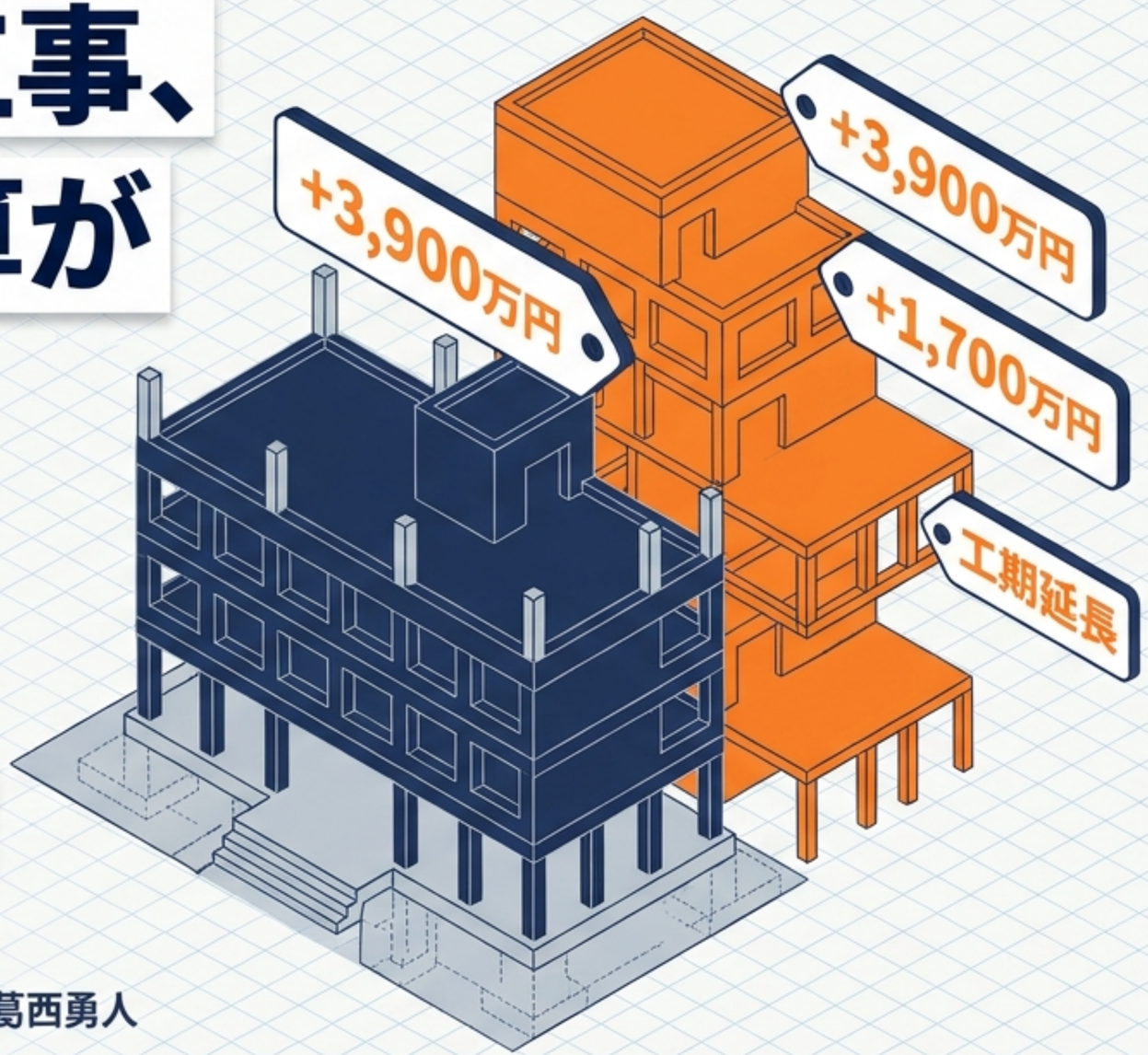
公共施設の改修工事、なぜ「後から」予算が が増えるのか？

市民の税金を守るための「変更契約」の課題と、透明性を高める6つの改善提案



令和8年第1回平川市議会定例会 一般質問 / 平川市議会議員 葛西勇人

Gemini Notebook



【現状】繰り返される「変更契約」の実態

過去5年間、あらゆる公共施設で事後的な予算増加が常態化している事実。



【課題】なぜ防げないのか？

縦割りの組織体制と、ブラックボックス化する「追加工事」の判断基準。



【提案】市民の信頼を担保する仕組みへ

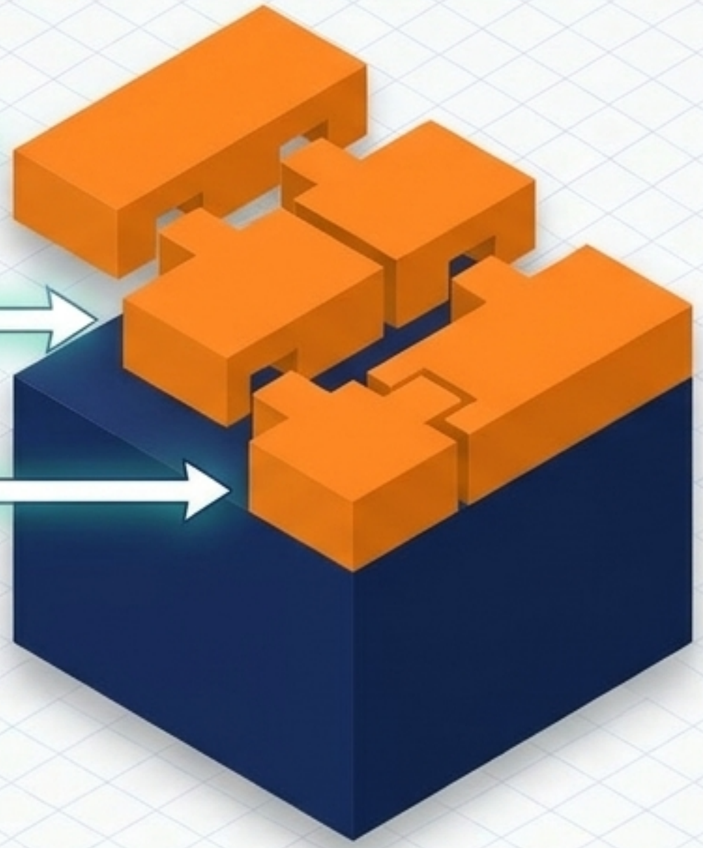
専門的知見を横断させる「6つの改善策」による新しいチェック体制の構築。

Gemini Notebook

① 数量の増減

② 工法の変更

③ 新たな追加工事



変更契約
（工事開始後の追加・変更）

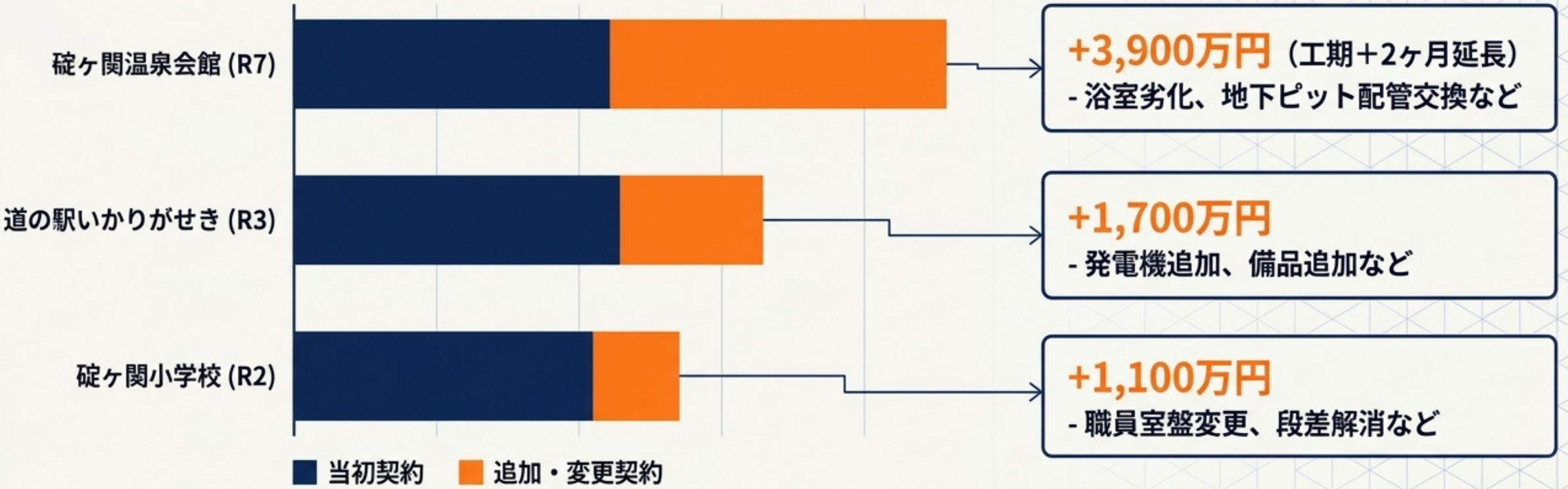
当初契約
（設計図と最初の予算）

議会で承認され、競争入札を
経て決定された適正な金額。

「変更契約」そのものは悪ではありません。問題は、その中身が『不可避なもの』か、
事前の準備不足による『防げたもの』か、という透明性です。

Gemini Notebook

施設改修工事における予算超過状況



+3,900万円（工期＋2ヶ月延長）
- 浴室劣化、地下ピット配管交換など

+1,700万円
- 発電機追加、備品追加など

+1,100万円
- 職員室盤変更、段差解消など

施設の種類（学校、温泉、道の駅）を問わず、同様の事後的増額が発生。
これは個別案件の不運ではなく「構造的課題」を示唆しています。

Gemini Notebook

【①不可抗力型】
（やむを得ない経年劣化）



原因：事前調査の限界

【②事前検討不足型】
（設計時に組み込めたはず）



原因：設計段階の詰めの甘さ

【③後出し要望型】
（利便性・機能の追加）



原因：意思決定の遅れ（本来は別契約すべき）

Gemini Notebook

予算超過がもたらす深刻な影響



当初予算の形骸化

↓

入札制度の公平性低下

↓

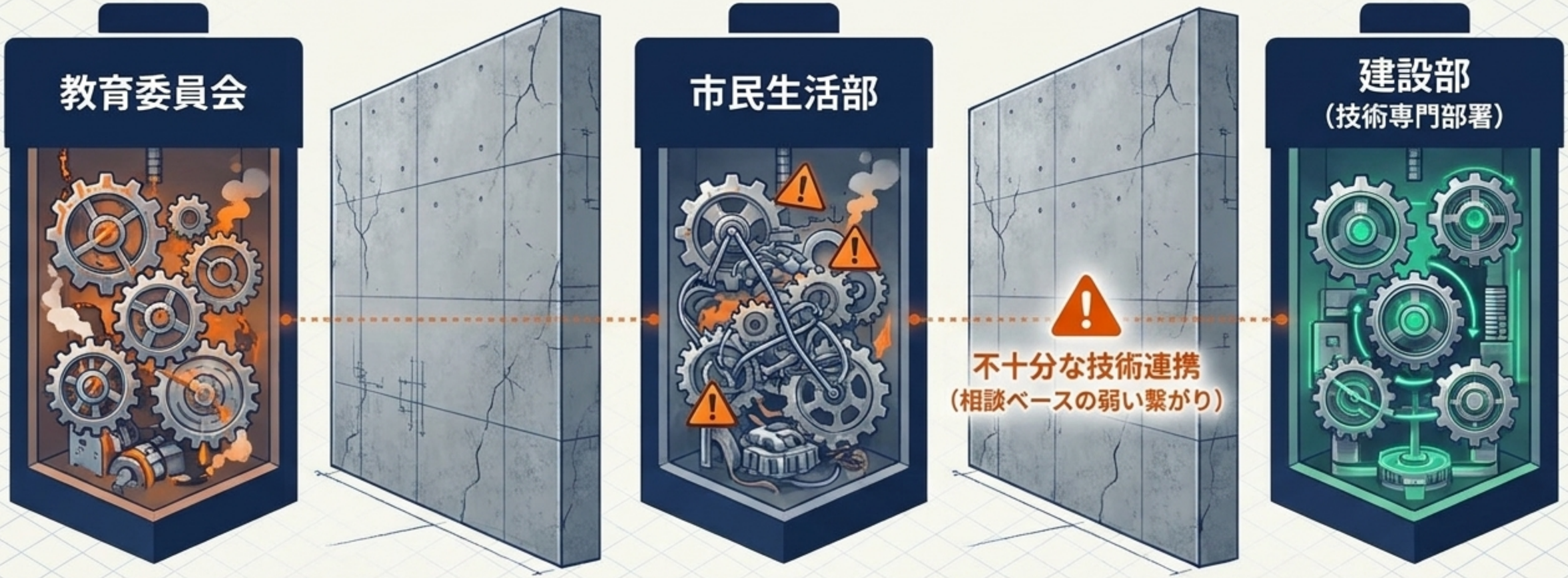
最終支出額の
ブラックボックス化

↓

市民の行政への
信頼低下

Gemini Notebook

縦割り組織の弊害：なぜ防げる変更が通ってしまうのか

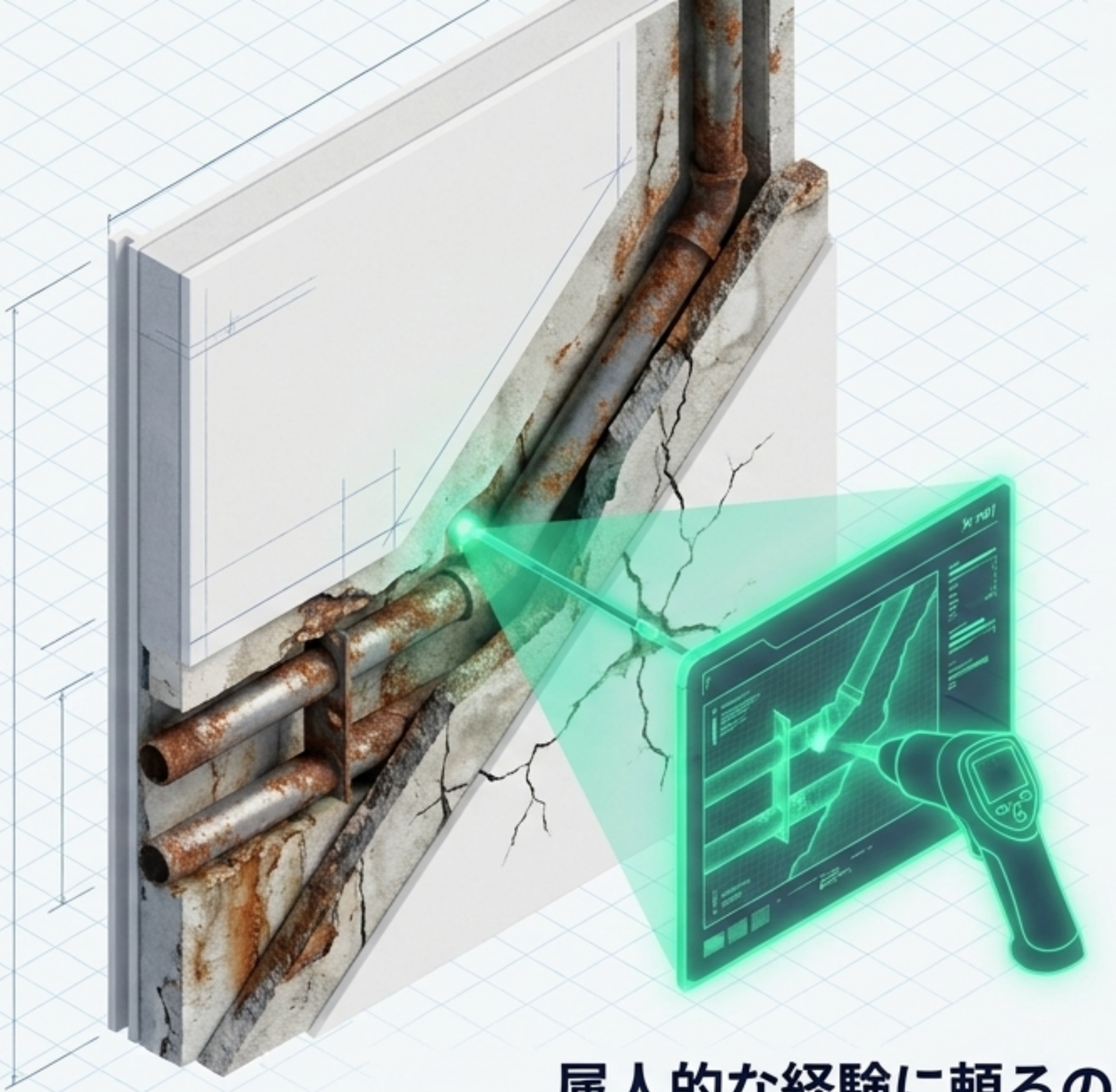


なぜ防げる変更まで通ってしまうのか？
それは各担当部署が孤立して発注・判断を行っており、技術的的専門知識を持った
「建設部」の横断的な審査機能がシステムとして欠如しているためです。

Gemini Notebook

【市の答弁】(現状維持の理由)		【議員の主張】(真の課題と改革案)
壁を壊す調査は費用と手間がかかる。現状の建築士の想定で良い。	事前調査	基準がないことが問題。最新技術を活用し、統一の調査レベルを明文化すべき。
30%以内の増額なら、一体施工の合理性をみて変更契約で対応。	機能向上の追加	スクリーンや電気錠は「不可避な補修」ではない。当初設計で決めるか、別契約にすべき。
審査会を挟むと工事が遅れる。人員も不足しているため導入しない。	技術審査	プロセスを省いて税金が膨らむ方が問題。一定額以上は専門的な第三者審査が必須。

Gemini Notebook



市のジレンマ

「すべて解体して調すべるのは
費用がかかりすぎる」

解決の糸口（最低限の調査基準明文化）

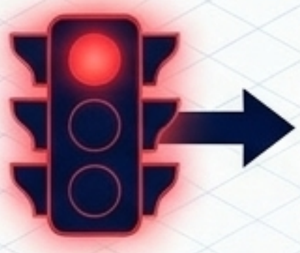
全てを壊す必要はない。
テクノロジーで「見えない壁」を透視する。

1. クラックは全数調査を義務化
2. 配管は「内視鏡」による確認を標準化
3. アスベストは解体前の詳細調査を徹底

**属人的な経験に頼るのではなく、市としての
「明確な調査基準（ルール）」を持てば予期せぬ増額は防げる。**

Gemini Notebook

【提案】契約変更ガイドライン（信号機メタファー）



【機能向上】
（大型スクリーン、電気錠、部屋拡張など）

→ 原則別契約へ：独立した事業として別途発注し、競争入札をやり直す。



【軽微補修】
（蛇口の変更、建具の交換）

→ 金額基準設定：一定額未満かつ一体施工が合理的な場合のみ許容。

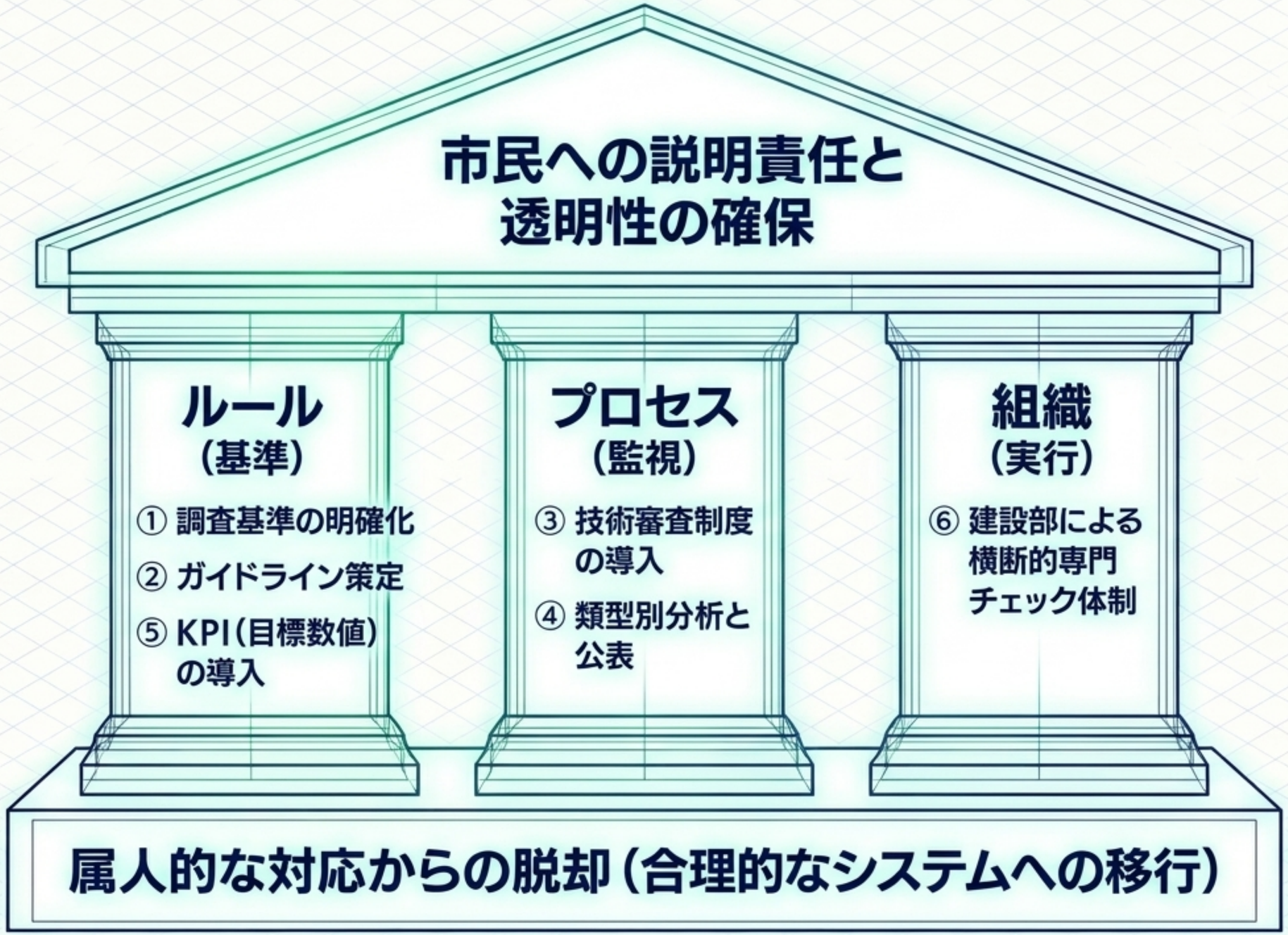


【真に不可避】
（壁内の予期せぬ腐食、地中障害物）

→ 変更契約可：厳格な確認を経て、速やかに変更契約を締結。

「30%以内なら何を追加してもいい」という暗黙の了解を打破し、中身の「性質」で白黒つけるガイドラインが必要です。

Gemini Notebook



Gemini Notebook

【新ブループリント】
合同技術審査による業務ワークフローの刷新



過去の成功体験：数年間直らなかった集会所の雨漏りが、技術専門である『建設部』が関与した途端に短期間で解決しました。この事実が、技術部門の早期介入の重要性を証明しています。

Gemini Notebook



1 静岡県藤枝市 / 東京都武蔵野市

改修工事はすべて技術専門の
「建設部門」が一括担当。

設計ミス・追加工事が激減。
品質と市民満足度が向上。

2 滋賀県東近江市

「標準マニュアル・調査
チェックリスト」の整備。

業者とのやり取りが標準化され、
ブラックボックス化を抑制。

**他自治体ではすでに「組織の壁」を壊し、技術力を集約する
フェーズに入っています。平川市にも必ず可能です。**

Gemini Notebook

私たちは「変更契約をゼロにする」ことを求めているわけではありません。
改修工事の性質上、不可避な変更は存在します。



求めるのは、「仕方ない」で済ませず、事前の技術的チェックを尽くし、
そのプロセスを市民へ論理的に説明できる『合理的な行政の仕組み』です。

Gemini Notebook

大切な税金が、どこで、なぜ使われたのか。

今回の一般質問と6つの提案が、平川市の制度改善と組織体制見直しの
「第一歩」となることを期待し、より一層透明性の高い公共事業の推進を求めます。



Gemini Notebook